益田川治水ダム建設事業 平成18年度 全建賞受賞

益田川治水ダム建設事業(受賞機関:益田県土整備事務所)が、社団法人全日本建設技術協会の平成18年度全建賞に選ばれ、その表彰式が平成19年6月29日に東京都港区の虎ノ門パストラルで行われましたのでお知らせします。

全建賞は、「建設技術の活用」、「公共事業の進め方やストックの運用の工夫等」により、特出した成果が得られた事業や施策に贈られるもので、社団法人全日本建設技術協会により昭和28年に創設された賞であり、平成18年度は全国で60事業が受賞しました。

本事業の受賞は、常用洪水吐きを河床に設置し治水専用ダムとすることで、貯水池の富栄養化、放流水の冷温水化、濁水の長期化などの影響が小さく、流水及び土砂の連続性が保たれることで生態系に与える影響を低減、また既設ダムの活用により地元住民の生活への影響の軽減及びコスト縮減を図ったことを評価されたものです。

表彰式の模様



なお、本県関係では、この他に、宍道湖タ日スポット整備事業(国交省松江国道工事事務所)、浜田 漁港広域漁港整備事業水産加工排水浄化施設整備(農林水産部)が受賞するともに、菅原信二国土交 通省中国地方整備局企画部長(元島根県土木部長)が谷口功労賞を受賞されました。

詳細は社団法人全日本建設技術協会 http://www.zenken.com/ を参照ください。 また、益田川治水ダム建設事業については下記を参照ください。

http://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/damu/masudagawa/masudagawadam.html

●益田川ダム 常用洪水吐きを河床に設置し治水専用ダム化







●笹倉ダム再開発 既設農地防災ダムを利水専用ダムとして再開発





